

平成22年度 第2回 山形県立図書館協議会次第

平成23年2月18日(金)

13:30～15:00

遊学館 2階 第5研修室

一 開 会

二 あいさつ

山形県教育庁 生涯学習振興課長

山形県立図書館長

山形県立図書館協議会委員長

三 議 題

1 平成22年度図書館運営の状況について

(1) 所蔵資料について

(2) 利用状況について

(3) 事業実施状況について

2 平成23年度県立図書館運営について

(1) 運営方針(案)について

(2) 事業計画について

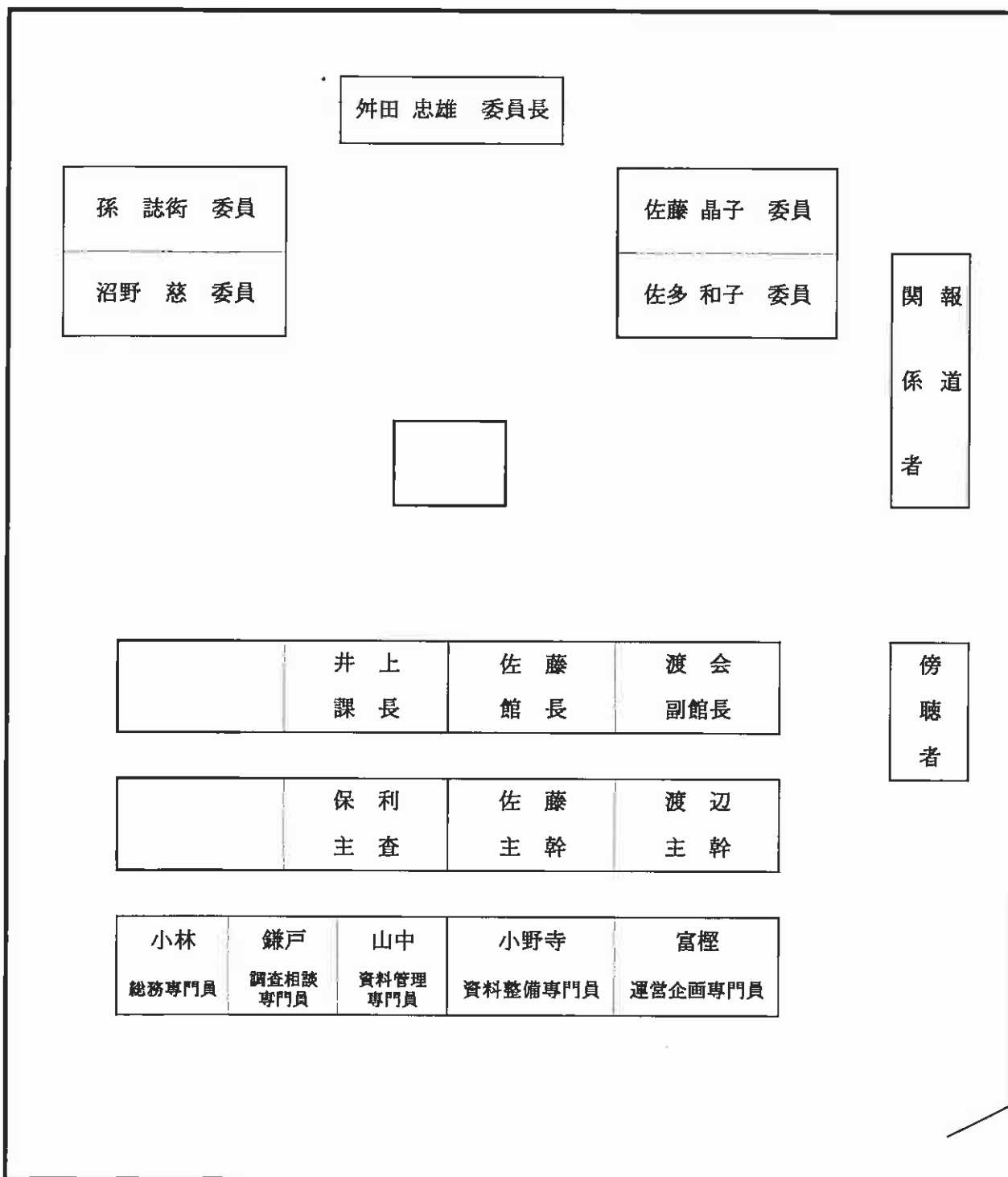
(3) 予算案について

3 その他

四 その他

五 閉 会

山形県立図書館協議会席次表
 (遊学館 2階 第5研修室)



舩田 忠雄 委員長

孫 誌銜 委員
 沼野 慈 委員

佐藤 晶子 委員
 佐多 和子 委員

関 係 者



	井 上 課 長	佐 藤 館 長	渡 会 副館長
--	------------	------------	------------

傍 聴 者

	保 利 主 査	佐 藤 主 幹	渡 辺 主 幹
--	------------	------------	------------

小 林 総務専門員	鎌 戸 調査相談 専門員	山 中 資料管理 専門員	小 野 寺 資料整備専門員	富 樫 運営企画専門員
--------------	--------------------	--------------------	------------------	----------------

傍聴者受付

山形県立図書館協議会委員

任期 平成21年5月25日～平成23年5月24日

(順不同)

氏 名	役 職	備 考
竹 田 眞 知 子	山形県高等学校文化連盟会長 (山形県立山形北高等学校長)	
舩 田 忠 雄	山形県社会教育委員	
孫 誌 銜	山形県立米沢女子短期大学准教授 (日本図書館情報学会所属)	
沼 野 慈	特定非営利活動法人NPOもがみ理事長	
佐 藤 晶 子	月刊「SPOON」元編集長	
佐 多 和 子	日本語講師	
佐 藤 政 彦	山形県学校図書館連絡協議会会長 (山形市立第九中学校長)	

1 平成22年度図書館運営の状況について

(1) 所蔵資料について

(平成22年12月末現在)

- ・平成22年12月末の総資料数は757,225点で、21年度末と比較し11,017点(1.48%)増加した。
(内訳：図書9,963冊増、逐次刊行物925冊増、視聴覚資料29点増、新聞合本100冊増、マイクロフィルム及び複製画については増減なし)
- ・所蔵資料(図書、逐次刊行物)の分類別の割合を見てみると、社会科学(19.2%)、郷土資料(16.5%)、文学(14.5%)の順となっている。
- ・減少した資料の内訳を見ると、図書では文学、社会科学の除籍が、逐次刊行物では郷土資料の移動(合本)が多い。

(単位：冊、点)

		平成21年度末蔵書数			増加(登録数)			減少(除籍・移動数)			平成22年12月末蔵書数		
		図書	逐刊	計	図書	逐刊	計	図書	逐刊	計	図書	逐刊	計
0	総記	20,811	30,013	50,824	401	854	1,255	60	851	911	21,152	30,016	51,168
1	哲学・宗教	24,757	2,350	27,107	385	39	424	68	0	68	25,074	2,389	27,463
2	歴史・地誌	50,369	5,173	55,542	856	157	1,013	115	145	260	51,110	5,185	56,295
3	社会科学	108,733	29,116	137,849	3,086	1,037	4,123	760	2	762	111,059	30,151	141,210
4	自然科学	33,282	8,269	41,551	1,086	242	1,328	194	147	341	34,174	8,364	42,538
5	技術・工学	36,630	12,667	49,297	1,291	426	1,717	104	504	608	37,817	12,589	50,406
6	産業	34,607	9,574	44,181	688	249	937	99	411	510	35,196	9,412	44,608
7	芸術	32,880	11,852	44,732	838	389	1,227	169	509	678	33,549	11,732	45,281
8	言語	11,298	1,133	12,431	162	16	178	75	0	75	11,385	1,149	12,534
9	文学	92,230	13,055	105,285	1,988	274	2,262	952	110	1,062	93,266	13,219	106,485
	小計	445,597	123,202	568,799	10,781	3,683	14,464	2,596	2,679	5,275	453,782	124,206	577,988
K	郷土資料	100,735	19,189	119,924	1,149	740	1,889	31	819	850	101,853	19,110	120,963
Z	児童	29,058	0	29,058	977	0	977	335	0	335	29,700	0	29,700
P	紙芝居	915	0	915	6	0	6	-3	0	-3	924	0	924
F	洋図書	4,366	0	4,366	8	0	8	-1	0	-1	4,375	0	4,375
	蔵書冊数	580,071	142,391	722,082	12,921	4,423	17,344	2,958	3,498	6,456	590,634	143,318	733,950

視聴覚資料(点)	10,413	38	9	10,442
----------	--------	----	---	--------

新聞合本(冊)	7,074	100	0	7,174
マイクロフィルム(点)	5,557	0	0	5,557
複製画(点)	102	0	0	102

資料数合計	746,208	17,482	6,465	757,225
-------	---------	--------	-------	---------

(2) 利用状況について

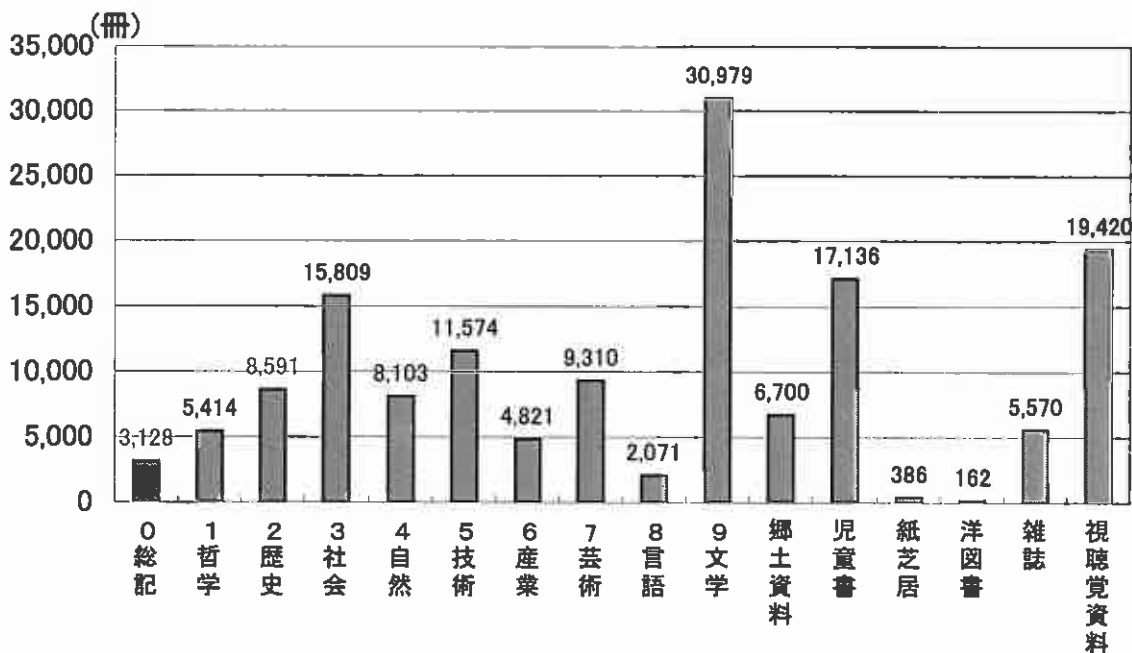
① 入館者数・新規登録者数・館外貸出資料数

入館者数は前年度より増加しているが、新規登録者数、館外貸出資料数は減少している。

区分	開館日数 (日)	入館者数 (人)		新規登録者数 (人)		館外貸出資料数 (冊)	
		総数	1日平均	総数	1日平均	総数	1日平均
21年度	221	164,686	745.2	2,133	9.7	142,268	643.7
22年度	222	169,382	763.0	2,067	9.3	138,955	625.9
対前年度比	100.5%	102.9%	102.4%	96.9%	95.9%	97.7%	97.2%

② 分類別個人貸出資料数

個人貸出資料数を分類別にみると、多いものから①文学、②視聴覚資料、③児童書④社会等の順となっている。



③ 個人貸出資料数の年齢構成

利用者の年齢構成を見てもと30～50代が約半数を占め、0～20代と60代以上がそれぞれ残りの半数を占めている。

前年度と比べると、60代以上の利用者の割合が若干増加している。

・利用者

区分	利用者数（人）				
	0～20代	30～50代	60代以上	その他	合計
21年度	10,904	23,410	11,357	1,467	47,138
構成比	23.1%	49.7%	24.1%	3.1%	100.0%
22年度	10,687	22,729	12,096	1,424	46,936
構成比	22.8%	48.4%	25.8%	3.0%	100.0%

・貸出資料数

区分	貸出資料数（冊）				
	0～20代	30～50代	60代以上	その他	合計
21年度	34,344	74,651	33,818	9,969	152,782
構成比	22.5%	48.9%	22.1%	6.5%	100.0%
22年度	33,146	71,189	35,556	9,283	149,174
構成比	22.2%	47.7%	23.9%	6.2%	100.0%

④ 図書館間での貸出資料数

図書館間での貸出資料数は約20%、借受資料数は約10%と大幅に伸びている。

区分	図書館間貸出			図書館間借受
	相互貸借	一括特別	計	
21年度	4,275	912	5,187	362
22年度	4,904	1310	6,214	400
対前年度比	114.7%	143.6%	119.8%	110.5%

⑤ インターネット予約資料数

平成19年10月から開始したインターネット予約資料数は、前年度と比べて約2割と大幅に伸びている。

21年度	4,733
22年度	5,625
対前年度比	118.8%

⑥ 調査相談受付件数

調査相談受付件数は前年度と比べて約13%増加している。

区分	口頭	電話	文書	メール	計	一日平均
21年度	4,026	722	329	224	5,301	24.0
22年度	4,851	684	118	323	5,976	26.9
対前年度比	120.5%	94.7%	35.9%	144.2%	112.7%	112.1%

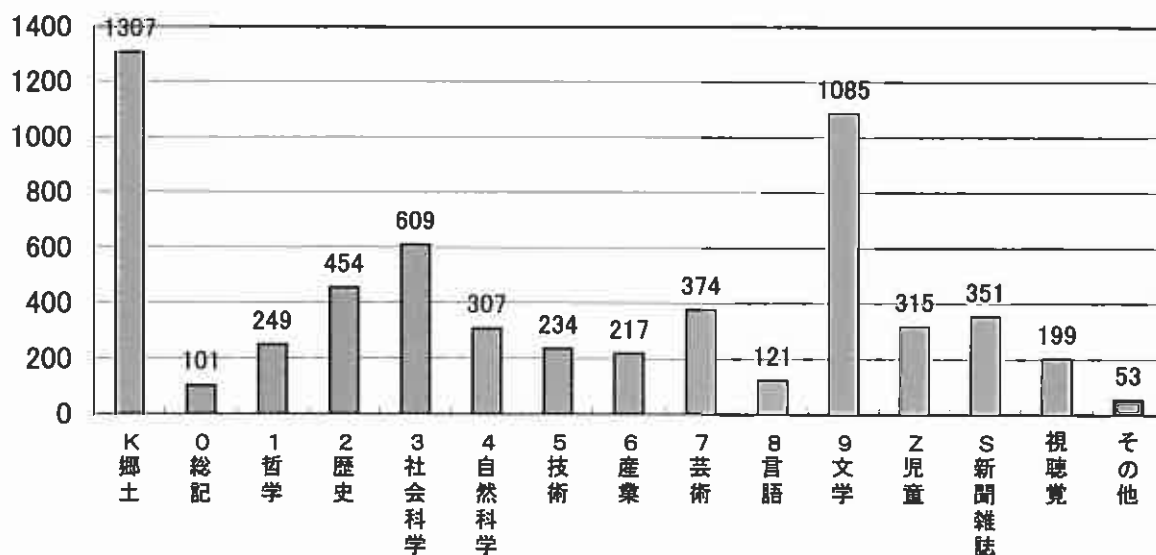
⑦ 調査相談内容別受付件数

調査相談受付件数を内容別に見ると、所蔵照会及び事実照会が増加している。

区分	所蔵	事実	書誌	文献	複写	案内	計
21年度	3,977	376	62	281	303	302	5,301
22年度	4,828	416	56	199	247	230	5,976
対前年度比	121.4%	110.6%	90.3%	70.8%	81.5%	76.2%	112.7%

⑧ 調査相談分類別受付件数

調査相談受付件数を分類別に見てみると、多いものから①郷土、②文学、③社会科学、④歴史等の順となっている。



(3) 事業実施状況について

<1 企画展等>

①読書週間企画展

i 春のこどもの読書週間企画展

『心を育む家族の絵本』

期 日 平成22年4月20日(火)～5月15日(土)

場 所 山形県立図書館1F県人文庫前フロア

内 容 今年の「国民読書年」にあわせ、近年の読書に対する意識がさらに高まるように、読書の土台となる「家族」をテーマとした。親子、祖父母と孫と一緒に絵本にふれあい「心に残る絵本」から、家族の絆を深めるきっかけとなるように展示し紹介した。

また、本企画展開催期間より常時、「ヤングアダルト(中・高校生)おすすめ本」を1Fフロアに展示、テーマ別絵本リスト「絵本の本棚」を2F児童書コーナーに設置し利用に供した。

- ・家族の想いが伝わる絵本
- ・パパ読んで！パパにおすすめの絵本

ii 100周年記念事業(秋の読書週間企画展)

①『2009～2010 県内出版物展』

期 日 平成22年10月19日(火)～11月14日(日)

場 所 山形県立図書館1階県人文庫前フロア

内 容 前年10月から1年間に出版された県内出版物や、県人及び県関係者の著作物 1059点および逐次刊行物 246タイトルを展示し紹介した。

②藤沢周平作品コーナー

期 日 平成22年11月6日(土)～11月14日(日)

場 所 山形県立図書館1階フロア

内 容 藤沢周平氏の著作本、原作の視聴覚資料、関連本等を展示した。

③井上ひさし作品コーナー

期 日 平成22年11月6日(土)～11月14日(日)

場 所 山形県立図書館1階フロア

内 容 井上ひさし氏の著作本、脚本の視聴覚資料、関連本等を展示した。

④『山形県出身児童文学・絵本作家の児童図書』展示

期 日 平成22年11月6日(土)～11月14日(日)

場 所 山形県立図書館2階児童書コーナー

内 容 山形県にゆかりのある児童文学・絵本作家から近年活躍されている荒井良二氏外6名の経歴紹介と所蔵資料の展示をした。

②テーマ別企画展

i 一般向け

場 所 山形県立図書館1Fフロア

平成22年度は、前年度からの「世界を旅する」シリーズの第4回目の展示と、「国民読書年」のキャッチフレーズ、「じゃあ、読もう。」を基本テーマとして、「本」から得られる知識から実践の術までを幅広いジャンルで展示し紹介した。

第1回『世界を旅する（アフリカ・オセアニア）』 6月8日（火）～7月4日（日）

前年度からのテーマ別展示の4回目。図書館の世界一周の旅が完結した。

第2回『本ってなに？』 7月20日（火）～8月14日（土）

1冊の本ができるまでを、作家、装丁者、出版社、書店など本に関わる仕事をする人とその仕事の内容に関する本を展示し、そしてできた「本」の中から、近年の山形出身作家の著作を紹介した。

第3回『本を読んで楽しもう』 8月17日（火）～9月12日（日）

「本」を読むことで得られる知識・知恵とは。

料理・芸術・趣味関連など身近なことを「じゃあ、読もう。」

家庭の中で知ったり、楽しめる世界を展示し紹介した。

第4回『敬老の日 読書のすすめ』 9月14日（火）～10月10日（日）

秋の夜長に、「じゃあ、読もう。」若い方から長寿を誇る方まで、年代に合わせて楽しめる本を紹介した。

第5回『本を読んだらどこへ行く？』 11月23日（火）～12月18日（土）

環境、農業、観光などのジャンルから、社会のかかわりと外に広がる世界を展示し、「本」から外へ、繋がる世界を紹介した。

第6回『タイムスリップしてみたら 本で江戸時代へ』 12月21日（火）～1月23日（日）

本でできる時間旅行。

江戸時代の人びとの生活、文化などを図書館の「本」で紹介した。

第7回『若い人に贈る本』『2010年文学賞等受賞作品』 3月4日（金）～3月27日（日）

春に向けて、新たな一歩を踏み出す人におすすめの本を紹介する。

また、2010年文学賞等受賞作品も併せて展示予定。

ii 児童向け

場 所 山形県立図書館2F児童書コーナー

第1回『おとうさん、おかあさん』 6月8日（火）～7月4日（日）

第2回『なつやすみ特集』 7月13日（火）～8月22日（日）

読書感想文課題図書

自由研究・工作に役立つ本、

なつやすみおすすめ本（2009年出版本から）

第3回『おじいちゃん、おばあちゃん』 9月14日（火）～10月10日（日）

第4回『赤ちゃん、きょうだい』 11月23日（火）～12月18日（土）

第5回『ともだち』 12月21日(火)～1月23日(日)

『山形県児童文学・絵本作家紹介コーナー』

山形県にゆかりのある新しい作家の作品を、作家の経歴と一緒に展示し紹介した。

籠岡 亜希子 1971生まれ～ 米沢市出身(6月～11月)
深山 さくら 1959生まれ～ 上山市出身(12月～)

テーマ別絵本リスト『絵本の本棚』設置

子どもたちに読み聞かせをしている方々に向けて、絵本選びの参考にしてもらう目的で作成しているテーマ別リストを2階児童書コーナーに常時設置。No.13まで作成。

iii その他

場 所 山形県立図書館 1Fフロア

ア『山形県出身井上ひさし氏作品コーナー』

井上ひさし氏平成22年4月9日死去による、追悼展。

井上ひさし氏の著作本、脚本の視聴覚資料、関連本等を展示した。

期 日 平成22年4月23日(金)～6月6日(日)

イ『就職支援コーナー』

就職活動の一助となるような関連本を展示し紹介した。

第1回 平成22年7月13日(火)～9月12日(日)

第2回 平成22年9月14日(火)～10月21日(木)

ウ『ヤングアダルトおすすめ本』 4月20日(火)～

春のこどもの読書週間企画展から引き続き、ヤングアダルト(中・高校生)へ図書館職員からのおすすめ本を展示した。利用者から募集したアンケートにより20冊の紹介があり、紹介文とともに所蔵のある本を展示した。

エ『高校生職場体験実習から イマドキ中・高校生のおすすめ本』

図書館の職場体験実習の締めくくりとして、中・高校生が選んだおすすめ本について、各自が作成した紹介カードと一緒に展示した。高校生(1校、2名、4冊)中学生(2校、8名、32冊)

平成22年度 企画展等実績一覧

<読書週間企画展>

区分	春のこどもの読書週間企画展
テーマ	心を育む家族の絵本
期間	4/20～5/15
実日数	23
展示冊数	339
貸出総数	禁貸出

<開館100周年記念事業>

区分	秋の読書週間				計
テーマ	2009～2010 県内出版物展	藤沢周平作品コーナー	井上ひさし作品コーナー	山形県出身児童文学・絵本作家の児童図書展示	
期間	10/19～11/14	11/6～11/14	11/6～11/14	11/6～11/14	
実日数	24	8	8	8	48
展示冊数	1305	60	52	372	1,789
貸出総数	禁貸出	37	23	—	60

<一般向けテーマ別展示>

区分	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	計
テーマ	世界を旅する(アフリカ・オセアニア)	本ってなに?	本を読んで楽しむもう	敬老の日 読書のすすめ	本を読んだらどこへ行く?	タイムスリップしてみたら	若い人に贈る本	
期間	6/8 ～7/4	7/20 ～8/14	8/17 ～9/12	9/14 ～10/10	11/23 ～12/18	12/21 ～1/23	3/4 ～3/27	
実日数	23	23	24	23	23	24	(20)	140
展示冊数	284	228	264	392	348	305	未確定	(1,821)
貸出総数	176	202	314	394	305	266	未確定	(1,657)

<児童向けテーマ別展示>

区分	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	計
テーマ	おとうさん、おかあさん	なつやすみ 特集	おじいちゃん、おばあちゃん	赤ちゃん、きょうだい	ともだち	
期間	6/8 ～7/4	7/13 ～8/22	9/14 ～10/10	11/23 ～12/18	12/21～1/23	
実日数	23	34	23	23	24	127
展示冊数	232	325	214	289	235	1,295
貸出総数	113	211	80	145	153	702

<その他の展示>

	山形県出身井上ひさし氏作品コーナー	就職支援コーナー		山形県児童文学・絵本作家紹介	ヤングアダルト おすすめ本	計
期間	4/23～6/6	7/13～9/12	9/14～10/21	4月～3月	4/20～常設展示	
実日数	38	57	31	290	278	694
展示冊数	136	103	60	51	100	450
貸出総数	102	91	52	—	未確定	(245)

③出前展示

山形県等主催の下記イベント事業の会場に、関連する図書資料を出前して展示。

イベント名 「子育て応援団 すこやか 2010」
期 日 5月29日（土）～5月30日（日）
場 所 山形国際交流プラザ
主 催 子育て応援団実行委員会、山形新聞・山形放送 山形県 山形市

④NHK山形放送局「やまもり！『ぴっくあっぷブック～今回のおすすめ本～』」

時期にあわせたおすすめの本3冊に加えて、図書館のイベント・企画展も広報。

第1回 4月22日 「連休に読みたい本」
第2回 5月27日 「雨の日に本を」
第3回 6月24日 「YAおすすめ」
第4回 7月22日 「本ってなあに」
第5回 8月26日 「夏に負けないおいしい本」
第6回 10月28日 「県立図書館100周年から」
第7回 11月25日 「本から読む音」

<2 県立図書館開館 100 周年記念事業>

県立図書館が、明治 43 年の開館以来 100 周年を迎えたことを記念し、又、多くの県民に読書の楽しさを知っていただき県立図書館に親んでもらうために、記念事業を実施した。

1 事業テーマ おいでよ図書館へ

2 事業の内容

① 記念講演「つちだよしはるスペシャルトーク」

本県出身絵本作家の土田義晴氏と当館協議会委員の佐藤晶子氏による対話方式のトークショーを実施した。

「親子で親しむ絵本と図書館」と題し、県内公共図書館や学校等との交流を通しての幼児期・児童期における読書の大切さ、公立図書館への期待などを語っていただいた。

② つちだよしはる原画展

「おじいちゃんのカブづくり」ほか 6 種類、計 30 点の原画を 8 日間展示した。

③ 映画上映会

NHK 母と子のテレビ絵本「きいろいばけつ」（土田義晴作）を上映した。

④ 「本を読んで聞かせてよ」

園児・児童 16 人が、一人ずつステージ上で絵本の読み聞かせに挑戦した。

⑤ 閉架書庫探検

図書館の中で、県民が日ごろ立ち入ることのできないミステリーゾーンである「閉架書庫」を子どもたちに開放し、探検を行った。(12 名参加)

⑥ ワークショップ「世界にひとつの絵皿を作ろう」

絵皿づくりを通じて、子ども(30 人)と作家が交流を行った。

⑦ 「折り紙しようよ」

図書館職員の指導により、子どもたちが折り紙の体験を行った。

⑧ 県立図書館の歴史・収蔵品展

a 年表「100 年のあゆみ」や写真等を展示した。

b 「高橋由一石版画」や「最上家在城諸家中町割図」など、当館の貴重資料を展示した。

⑨ 県出身絵本作家の絵本展示

荒井良二、土田義晴、真島節子、最上一平など、県出身絵本作家の絵本を展示した。

⑩ 藤沢周平・井上ひさしコーナー

山形県ゆかりの作家である藤沢周平氏と井上ひさし氏の著作物を展示した。

⑪ 県内出版物展

過去 1 年以内に出版された県人の著作物や郷土資料を展示した。

3 開催期間 平成 22 年 11 月 6 日(土)～14 日(日)

4 会場 遊学館内のホール及びギャラリースペース等

5 P R 先

県内の公立図書館(室)、市町村教育委員会、保育園・幼稚園、小・中・高校、読み聞かせ団体等 計 1,000 箇所強

6 参加者 開会行事・記念講演：一般県民及び県内図書館関係者など約 230 人 収蔵品展・原画展：延約 700 人

2 平成23年度県立図書館運営について

(1)運営方針(案)について

1 運営方針

(1) 県民の学習活動を支援する情報拠点として、県民ニーズの多様化や情報化の進展に的確に対応し、各地域社会の発展に寄与するため、市町村立図書館との連携を一層強化しながら、県立図書館が担うべき基本的な機能の充実を図る。

- ① 生涯学習情報センター的機能
- ② 総合的情報センター的機能
- ③ 県内公共図書館の中心館的機能
- ④ 地域の社会・文化センターとしての機能

(2) 読書のための図書・資料に関する情報とともに、図書館の実施事業・運営状況、地域の課題解決に資する情報等について、ホームページや報道機関を活用して県民に積極的に提供し、図書館の周知と利用の拡大を促進する。

(3) 図書館法の改正や「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」の改正（予定）等、図書館を取り巻く環境の変化に対応するため、館の利用・運営状況、事業効果、地域のニーズ・課題等の把握・分析を行い、これらを基に、より「地域に役立つ」図書館づくりに向けて、中期的（3～5年程度）な重点的取組方針（アクション・プラン）を検討する。

2 主な事業

(1) 資料の充実

県立図書館資料収集方針に基づき、特定分野に偏らない総合的な資料整備を基本に、時代の要請にも即応した資料の整備を進める。

市町村立図書館・大学図書館等との役割分担及び利用者ニーズなどを念頭に置きながら、資料の充実に努める。

(2) 円滑な利用者サービスの確保

利用者への円滑なサービスを確保するため、カウンター業務を担当する司書職員の職場研修の充実に努める。

また、館内の良好な読書環境の維持、醸成及び利用者の安全を確保するため、照明、換気等の室内環境に配慮するとともに、利用者マナーの遵守を呼びかける。

(3) 図書館活動等の広報

図書館運営の状況や各種イベント、展示等の情報について、ホームページ、図書館報等に掲載するとともに、報道機関に積極的に提供し、県民への周知を図る。

(4) 市町村立図書館（室）活動推進のための支援及び連携

インターネット予約と相互貸借の一層の利用を促進し、相互貸借等の図書館（室）間協力体制を強化しながら、県内の図書館ネットワークサービスの展開を図る。

(5) 県外図書館、官公庁、大学、各種団体等との連携

総合目録ネットワークシステムのデータ提供館として、引き続き所蔵データを提供していくことにより、全国ネットワークの一翼を担いながら、全国の図書館との相互貸借を推進する。

官公庁及び各種団体等が主催するシンポジウム等との相乗効果を得るため、その開催会場に出向き、関連資料を展示する。

(6) 調査相談（レファレンス）の充実

担当職員の研修の機会の確保に努め、レファレンス機能の強化を図る。レファレンス事例についてホームページ等で広く紹介するとともに、レファレンスツールの充実を図り、利用者が必要な情報を自ら獲得できるよう支援する。

(7) 展示の充実

県民の読書に親しむ環境を醸成するため、春・秋の読書週間に合わせた企画展示、子供向け及び一般向けのテーマ別展示、その時々々の時宜に応じた展示等を実施する。

展示内容に関する県民の意見・要望や展示の効果等の把握・検討に努め、より県民に親しまれる図書館づくりを進める。

(8) 子どもの読書活動の推進

子どもの読書や図書館に対する理解と関心を高めるため、県出身絵本作家の「絵本原画展」及び「手作り絵本コンクール」を開催する。

子どもに読み聞かせを行う際に絵本を選ぶ参考となる「絵本の本棚」を引き続き作成・配布し、読み聞かせ活動を支援する。

山形県図書館協会の事務局として、同協会が実施する「学校と公立図書館の連携による子どもの読書活動推進」の取組を効果的に実施する。

(2) 事業計画について

<1 企画展示等>

①読書週間企画展

i 春のこどもの読書週間企画展

『親子で楽しもう！季節の行事』

日本には四季を通して様々な行事がある。季節を感じたり、自然の恵みやご先祖様に感謝したり・・・。

行事について書かれた絵本や、山形県内の年中行事に関する郷土資料を通し、親子で行事を楽しんだり、親から子へ伝えていくきっかけとなるよう展示し紹介する。

期 日 平成23年4月19(火)～5月14日(土)

場 所 山形県立図書館1F 県人文庫前フロア

内 容 ・ 行事について書かれた絵本、紙芝居など
・ 山形県の年中行事に関する資料
・ 主な行事の由来などをパネルで紹介

ii 秋の読書週間

『2010～2011 県内出版物展』

期 日 平成23年10月18日(火)～11月13日(日)

場 所 山形県立図書館1F 県人文庫前フロア

内 容 前年10月から1年間に出版された県内出版物や、県人及び県関係者の著作物約1,000点および逐次刊行物約300タイトルを展示し紹介する。

iii 秋の読書週間特別展

『生誕130周年 おりしもよしのび 折下吉延 特別展』

期 日 平成23年10月18日(火)～11月13日(日)

場 所 山形県立図書館1F 県人文庫前フロア

内 容 折下吉延は、明治14年生まれの造園家で、明治神宮造営に携わったことで有名であり、県内では、新庄城址の心字池の造園を手がけるなど、海外を含む各地の造園事業に関わった。縣人文庫22人の一人。

今年は生誕130周年の年にあたることから、通常展示していない当館所蔵の貴重資料を展示し、その業績などを紹介する。

②テーマ別企画展

i 一般向け

場 所 山形県立図書館1Fフロア

「いろいろな視点からの発見」をテーマとし、宇宙や地球といった大きな世界、私たちの生活に関わる身近な世界、知識や知恵となる学問の世界をさまざまな視点から見られる展示を行う。新しいことに興味を持つ、今まで気になっていたことについて考えるなど、何かを見つめるヒントになるよう、幅広いジャンルの本を展示し紹介する。

第1回『地球そして宇宙をみてみよう』

地球の地上から地下までと、空から宇宙へという大きな世界についての展示。

地上では、海や山などの自然から、街づくりそして環境問題に関する本も紹介する。

第2回『自分のライフスタイルとは？』

生活するということ、衣・食・住居など身近な世界についての展示。

実用的なことから、趣味に関することまでも紹介する。

第3回『敬老の日 読書のすすめ』

秋の夜長に、本を読んでみませんか。

若いあなたから長寿を誇る方まで、年代にあわせて愉しめる本を紹介する。

第4回『知識・知恵を得るために』

産業から芸術、医療、歴史など、学問の世界についての展示。

昔から言い伝えられていることから、最新の話まで、さまざまな分野の知識となることについて紹介する。

第5回『若い人に贈る本』『2011年文学賞等受賞作品』

春に向けて、新たな一歩を踏み出す若い人に薦めたい本を紹介。

また、2011年文学賞等受賞作品も併せて展示する。

ii 児童向け

場 所 山形県立図書館2F児童書コーナー

第1回『なつの絵本』

第2回『なつやすみ特集』

読書感想文課題図書

自由研究・工作・

なつやすみおすすめ本（2010年出版本から）

第3回『あきの絵本』

第4回『ふゆの絵本』

第5回『はるの絵本』

『山形県児童文学・絵本作家紹介コーナー』

山形県にゆかりのある児童文学、絵本作家の2009年、2010年に出版された本を展示し紹介する。

ア『ヤングアダルトおすすめ本』

ヤングアダルト向けの新着本及び図書館職員からのおすすめ本を展示し紹介する。

イ『就職支援コーナー』

雇用情勢が厳しい中、就職活動の一助となるような関連本を展示し紹介する。

ウ『中学生職場体験実習から イマドキ中学生のおすすめ本』

図書館の職場体験実習の締めくくりとして、中学生が選んだおすすめ本を各自のコメントをつけて展示し紹介する。

③出前展示

山形県などが実施するイベント事業などの会場に、関連する図書資料を出前して展示する。

<2 県立図書館読書活動推進事業>

1 目的

読書活動は、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きるために欠くことのできないものであるが、特に子どものときに習慣化することにより、計り知れない効果が生まれるものと言われている。

この事業は、絵本をきっかけとした諸取組みを展開することにより、本好きな子どもを育成し、子どもの読書活動を推進するための動機付けとすることを目的としている。

2 概要

(1) 事業内容

① 原画展

県出身絵本作家の原画及び絵本を展示し県民に公開することにより、本を身近なものに感じ、かつ本に親しむ気運を醸成する。

* 候補者：荒井良二、亀岡亜希子、戸田幸四郎、真島節子、土田義晴 など

② 手づくり絵本コンクール

県民から手づくり絵本の創作を募集し、審査により優秀作を選定・表彰することにより、読書意欲の推進を図る。

なお、審査にあたっては、原画を展示する絵本作家が審査員に加わることで、プロの目による審査が行われるとともに、応募者への適切な助言により、今後の取組みの励みとなる。加えて、優秀作は製本のうえ当館等の蔵書として活用することで、子ども読書活動推進を側面から支援する。

* 優秀作品には、賞状のほか記念品を授与する。

③ 手づくり絵本発表会

手づくり絵本コンクール優秀作品の発表会を開催し、県民運動としての「読書県山形」の浸透を図る。

(2) 開催期日・場所

読書週間(10/27～11/9)に合わせて、遊学館内で開催する。

(3) その他

事業は、初年度の状況・効果を見極めたうえで随時見直しを行い、県全域への浸透を図るため、3ヵ年程度の継続を考えている。

(3) 予算案について

平成23年度当初予算額は、11,497万1千円で、前年度比15.2%の増である。
 増額の主な理由は、コンピュータ等賃借料・保守料の増、新規事業の実施などである。
 図書資料整備充実費は、ほぼ前年度並みの2,583万円である。

平成23年度 県立図書館予算(案)

単位：千円

	平成22年度 (当初)	平成23年度 (当初)	前年比	主な事業
県立図書館協会費	176	201	114.2%	協会開催経費
県立図書館運営費	61,485	68,391	111.2%	遊学館管理運営経費、システム経費等
図書資料整備充実事業費	26,141	25,830	98.8%	図書、雑誌、視聴覚資料購入費等
奉仕活動事業費	2,659	2,801	105.3%	製本委託、相互貸借等
資料確認整備事業費	9,363	9,908	105.8%	緊急雇用対策賃金等
郷土図書書誌情報等充実事業費	0	6,841		緊急雇用対策賃金等
読書活動総合推進事業費	0	999		絵本原画展、手づくり絵本コンクール等
合計	99,824	114,971	115.2%	

3 その他 <平成22年度山形県図書館協会事業>

(1) 平成22年度 第30回山形県図書館研究大会

期 日：平成22年10月6日（水）

場 所：東根市さくらんぼタントクルセンター

テーマ：「もじ」ってこんなにすばらしい！ ―国民読書年によせて―

内 容：表彰式 平成22年度全国公共図書館協議会表彰 3名

平成22年度山形県図書館協会事業功労者表彰 4名

朗 読 源氏物語 朗読者 大場玲子氏

講 演（トークショー）

「山形県在住作家が語る読書の楽しさ」

対談者 深町秋生氏、柚月裕子氏

コーディネーター 鈴木雅史氏

参加者数：350名

(2) ブックトーク研修会の開催

山形県図書館協会の「子どもの読書活動推進事業」として、県内2地区（村山、最上）でブックトーク研修会を各2回実施した。

○ 1回目（ブックトークとは、ブックトークの必要性、演習）

講師：蔵元和子（文教大学講師）

平成22年7月22日（木）13：30～16：30 寒河江市

平成22年7月23日（金）13：30～16：30 新庄市

○ 2回目（学校でのブックトーク、子ども同士のブックトーク、演習）

講師：蔵元和子（文教大学講師）

平成22年11月18日（木）13：30～15：30 寒河江市

平成22年11月19日（金）13：30～15：30 新庄市

(3) 学校と公立図書館（室）の連携による子どもの読書活動推進のための計画策定

平成20年11月に県図書館協会の事業として、学校と公立図書館（室）の連携による子どもの読書活動推進のための実態調査を実施し、平成21年度は実態調査の中間まとめを行った。

平成22年度は実態調査の最終まとめを行い、平成23年度以降の山形県図書館協会の「子どもの読書活動推進事業」計画（案）のとりまとめを行った。

図書館情報システムのリニューアルについて

平成 23 年 3 月 1 日（火）より図書館情報システム及びホームページが新しくなります。
次のような改善、機能強化を図りました。

◆ データのリアルタイム更新

インターネットサービスと館内サービスを一元管理することにより、貸出や予約などの状況が図書館ホームページや館内利用者端末を使ってリアルタイムに確認できるようになります。

（これまでは、システムの内部処理に時間を要し、タイムラグが生じていました。）

◆ 検索機能の向上

書誌情報や著者情報のもつ全ての情報に対して、フリーワードで検索ができるようになります。
また、図書分類からの絞り込み検索や検索結果の並び替えなど便利な機能が追加されます。

（これまでは、書名や著者といった特定の項目のみでの掛け合わせで検索を行っていました。）

◆ 予約機能の向上

これまでは、資料 1 件ごとに利用者番号・パスワードを入力する必要がありましたが、カート方式を採用し、複数の資料をまとめて予約できるようになります。

また、携帯電話用の検索システムからの予約もできるようになります。

◆ リライトカードの導入

利用者カードをリニューアルし、リライト式カードを導入します。リライトカードとは「書き換えるカード」という意味で、これまでレシートで発行していた貸出情報が利用者カード内に表示されるようになり、借用本の書名や返却期限が利用者カードで確認できるようになります。

◆ 館内利用者端末の増設

利用者の利便を図るため、2 階に館内利用者端末を 1 台増設します。

◆ 完全 Web 型システムへの移行

これまでは、クライアント OS が WindowsXP に限定されていたため利用期限の制約がありましたが、今後はウェブブラウザのみで利用出来る完全 Web 型のシステムを導入し、長期的に利用出来るようになります。

◆ ホームページの充実

これまでの機能を引き継ぎながら、見やすさと利用しやすさを考慮するとともに、調べ方案内（郷土資料の参考資料の手引きや調べる際に役立つ HP のリンク集など）を追加するなど、ホームページの充実を図っています。